

経営比較分析表（平成28年度決算）

熊本県 合志市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)	
-	70.76	98.75	2,410	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
60,701	53.19	1,141.21
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
60,257	38.73	1,555.82

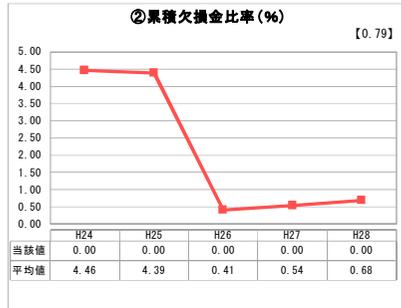
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

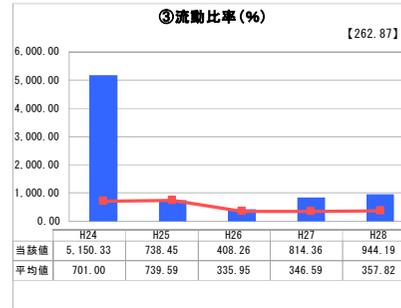
1. 経営の健全性・効率性



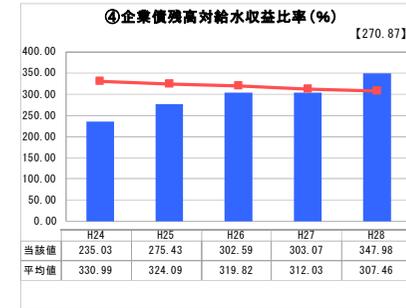
「経常損益」



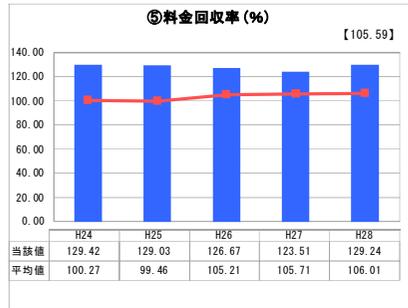
「累積欠損」



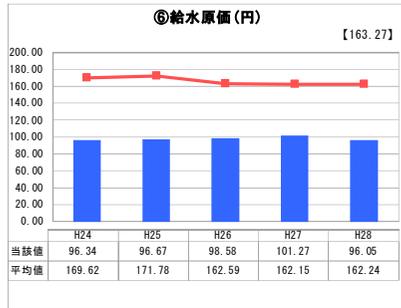
「支払能力」



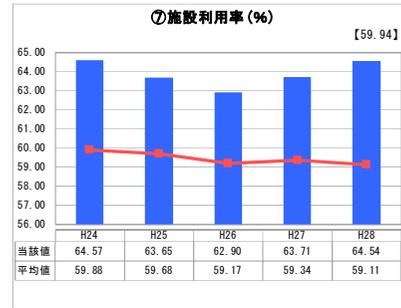
「債務残高」



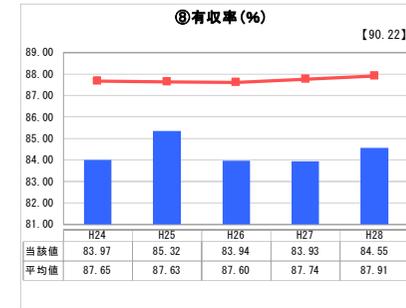
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

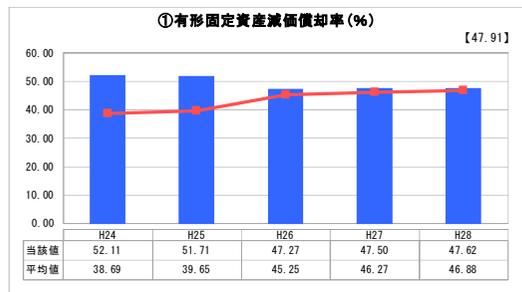


「施設の効率性」

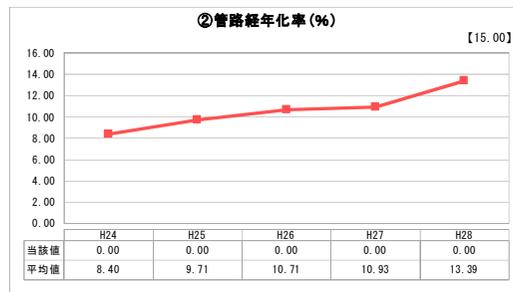


「供給した配水量の効率性」

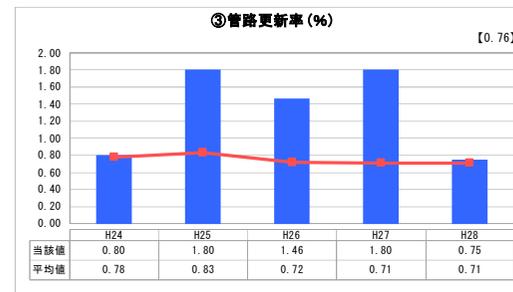
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

【現状】
経営の健全性・効率性を示す指標は、概ね良好な水準にあるといえますが、有収率については、類似団体及び全国平均を下回っている状況です。また、複数要因により③流動比率の低下がみられます。

【要因】
配水管の老朽化に起因する漏水があるものと考えており、毎年漏水調査を実施し、配水管の漏水修繕等に取り組んできたところです。

【過年度決算における配水及び給水費（税抜）】
H24 27,097千円
H25 31,459千円
H26 24,595千円
H27 29,959千円
H28 28,604千円
一方、平成25年度からの③流動比率の低下は、配水施設の整備等による建設改良費の増加に伴って預金現金の減少及び未払金が増加し、また平成26年度からの会計制度改正も影響しているものです。

【今後の対策】
配水管の漏水については、短期間での改善ができるものではありませんが、引き続き調査及び修繕を継続します。

【配水及び給水費予算（税込）】
H29 36,470千円
H30 32,890千円
流動比率については、当分の間、今後も同程度の水準を確保する見込みです。

2. 老朽化の状況について

類似団体平均値及び全国平均値を若干上回っており、老朽化がやや進んでいることが伺えます。平成28年度の③管路更新率が低くなった理由は、配水機能の改善のために配水施設を数年かけて取り組む必要があることにより、管路への投資をやや抑制せざるを得ない状況にあるためと、熊本地震も管路布設工事が減少した一因です。

現在、配水施設の整備増強を進めており、将来的には、小規模配水施設等の統廃合を進める計画です。

全体総括

⑧有収率の低迷もあって、配水管の布設替工事を毎年度進めているところです。ここ数年は管路更新だけでなく、配水施設（本原野配水池）の築造も行なっており、全体的な水の安定供給に係る配水機能の改善等にも取り組んでいます。

【経営戦略策定状況】平成32年度までに策定

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。